

平成31年度
九州大学大学院総合理工学府
修士課程

学 生 募 集 要 項

平成31年4月入学者一般選抜

- この募集要項は必ず「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」とセットでお取り扱ってください。
(総合理工学府ホームページに掲載されています。)
- 出願書類は本募集要項の後部に関係様式を用意していますので、印刷して御使用ください。なお、様式によっては両面印刷を必要とするものもあります。
- 出願資格審査を必要とする者(本募集要項の「6. 出願資格審査」の項参照)は、本募集要項の後部にある「出願資格認定申請書(様式5)」及び「研究従事内容証明書(様式6)」の様式を印刷し、必要事項を漏れなく記入の上、平成30年5月25日(金)までに他の必要書類とともに提出してください。

○修士課程入学者選抜の趣旨

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

本学府は、独立大学院の特徴を生かし、多くの異なる学部（学科）の教育を受け、優れた資質を持つ多様な学生を広く受け入れるために、筆答試験による選抜に加え、他大学・高専出身者を対象とする口述試験を導入しています。

総合理工学府の目標と特色

科学技術の発達に伴う物質文明の爆発的な拡大によって、今私たちはかつてないエネルギー問題や環境問題に直面しています。人類社会にとって、経済成長を維持しながらエネルギー確保及び環境保全を達成すること、すなわちトリレンマ（三者相克）を克服し、三者の調和ある発展を図っていくことが最重要課題になっています。

総合理工学府では、これらの三者の調和ある発展に寄与できる人材の養成を強力に推進することを目指した教育組織として、量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、先端エネルギー理工学専攻、環境エネルギー工学専攻、大気海洋環境システム学専攻の五専攻体制を取っています。

本学府は、多くの大学院講座を擁する総合理工学研究院、2つの附置研究所（協力講座）などで構成される特色ある大学院教育組織であるとの立場から、社会にインパクトを与える新しい学問分野を切り開くことを強く意識した専攻構成を取っています。各専攻は、生活を支える産業基盤の創生への貢献（生活軸）及び人類生存基盤の確立への貢献（生存軸）という2つの基軸の中で位置づけられており、それぞれの視点からトリレンマの克服のための教育研究を行います。同時に、共通講義、横断科目、副専攻制度などを通して各専攻間の有機的な連携を図り、それぞれの専門と柔軟な思考力を兼ね備えた研究者や技術者の養成を行います。

本学府の教育研究目標を約言すれば、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の養成」となります。このような教育研究目標を掲げた大学院教育組織は、国内はもとより世界的に見ても例がなく、その成果は今後の人類社会に大きく貢献するものと期待されます。

○アドミッションポリシー

広く全国の大学や高専専攻科、外国の大学出身者及び職業経験者で、物質、エネルギー、環境をキーワードにした環境共生型科学技術に強い興味と問題意識を持ち、十分な学力と勉学意欲を備えた学生を求めています。

〈量子プロセス理工学専攻〉

電気系分野、物質材料系分野、化学分野、応用物理系分野で学習・研究意欲を持っている学生、異分野の知識を吸収・統合して新たな科学技術を創出する意欲を持っている学生を全国の大学・高専専攻科・企業、及び海外から募集します。

〈物質理工学専攻〉

物質に関連する理学と工学に興味を持ち、大学学部・高専専攻科時代の専門をさらに深く探求しようという学生、および、狭い専門にとらわれずに学びの環境を変えて新しい領域に挑戦しようとする、知的探求心旺盛な学生を広く募集します。

〈先端エネルギー理工学専攻〉

本専攻が求める学生像は、修士課程、博士後期課程ともに、学問に対して広い興味を持ち、基礎知識に裏打ちされた鋭い洞察力、グループリーダーにふさわしい人間的魅力と牽引力を備えた人物です。出身学部は問いません、入学後にどれだけ頑張るかが重要だと考えているからです。

〈環境エネルギー工学専攻〉

環境負荷の低減や資源エネルギーの有効利用、省エネルギーなどの技術及びそれらの技術に基づく環境共生型社会システムの構築に関連する基礎から応用まで広い範囲の学術的課題に主体的にチャレンジ出来る意欲と能力を併せ有する学生を求めています。

〈大気海洋環境システム学専攻〉

本専攻の学問領域は、非線形物理、大気環境、大気海洋力学、海洋工学など多岐にわたります。これらの学問領域に強い関心を持ち、これらの専門知識による地球環境の保全・創造に意欲のある学生を求めています。なお、大学学部や高等専門学校卒業生のほか、社会人や留学生も広く受け入れます。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び平成31年3月31日までに学士の学位を授与される見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込の者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込の者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達するもの
- (11) 次のいずれかに該当する者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修了したと認める者
 - (a) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (b) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (c) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

上記(9)、(10)又は(11)による出願をする者は、出願に先立ち6に記載する出願資格審査を受けなければなりません。

2. 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員	各専攻ホームページURL
量子プロセス理工学専攻	37人	http://www. asem. kyushu-u. ac. jp/
物質理工学専攻	37人	http://www. mm. kyushu-u. ac. jp/
先端エネルギー理工学専攻	34人	http://www. ae. es. kyushu-u. ac. jp/
環境エネルギー工学専攻	26人	http://www. eee. kyushu-u. ac. jp/
大気海洋環境システム学専攻	30人	http://www. esst. kyushu-u. ac. jp/
合計	164人	

(注) 専攻によっては、平成31年1月以降に2次募集の試験を行うことがあります。詳細については、5の提出先へ問い合わせてください。

3. 願書受付期間

志望専攻等の区分	願書受付期間
量子プロセス理工学専攻 物質理工学専攻 先端エネルギー理工学専攻 環境エネルギー工学専攻 大気海洋環境システム学専攻	平成30年 6月18日(月)～ 平成30年 6月29日(金) 17時まで(※)

(注) 出願書類を郵送により提出する場合は、書留速達郵便とし、受付期間内に必着するように発送してください。

なお、締切直前は、窓口等混雑しますので、上記受付期間のできるだけ早いうちに提出下さいますようお願いいたします。

※ ただし、平成31年度九州大学大学院総合理工学府修士課程入試（高等専門学校対象の推薦入試）に出願した者については、平成30年7月6日（金）17時を提出期限とします。

4. 出願手続

志願者は、次の必要書類を市販の封筒（大きさ：角形2号240mm×332mm）に封入の上、封筒表面左部に「修士課程入学願書在中」と朱書きして提出してください。出願に当たっては、「**出願書類 提出確認票**」（所定用紙）を必ず添付してください。

1	出願書類提出確認票	必要事項を記入し、出願書類の先頭に添付してください。
2	願書 (様式1)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
3	希望研究室等調査票 (様式2)	第1志望専攻について、 本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。 (専攻ごとに様式が異なります。)
4	照合票・受験票 (様式3)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入し、写真を貼ってください。
5	卒業（見込）証明書	最終出身大学等が発行したもの 1の出願資格(9)、(10)又は(11)による出願者は事前に提出するので不要。 今年度に行われた高等専門学校の推薦入試受験者は不要。
	学士の学位証明書	1の出願資格(2)前段により出願する者
	学位授与申請予定証明書	1の出願資格(2)後段により出願する者で、所属学校長が発行したもの 今年度に行われた高等専門学校の推薦入試受験者は不要。
6	成績証明書	最終出身大学等が発行したもの ※高専専攻科を修了見込みの者は、高専本科の成績証明書も併せて提出してください。（高専から大学へ編入した者は、高専の成績証明書も併せて提出） ※1の出願資格(9)、(10)又は(11)による出願者は事前に提出するので不要。 ※今年度に行われた高等専門学校の推薦入試受験者は不要。
7	英語能力認定機関の発行した認定証の写し (受験日が、平成28年8月以降のものに限る)	下記(1)又は(2)のいずれか1つを提出ください。 (1) TOEIC公式認定証(Official Certificate)の写し。 ※公式認定証は、原則として、本人の写真入りのものに限りません。 ※入学試験当日に、公式認定証の原本を持参ください(必須)。 ※出願時に公式認定証の写しが間に合わない者は、出願時にTOEICの受験票の写しを提出の上、入学試験当日に公式認定証の原本を持参ください。 なお、その際、出願時より新しい公式認定証の原本を持参してもよい。 (2) TOEFL受験者用控スコア票(Examinee Score Report)の写し。 ※別途、出願前に公式スコア票(Official Score Report)の送付申請手続

		きを各自でとってください。その際、次のコードを利用ください。 Institution code : 0411、Department code : 99 入学試験当日までに公式スコアを確認できない場合は、受験できないこともあります。
8	受験票返送用封筒	市販の封筒（大きさ：長形3号120mm×235mm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、372円分（速達料金を含む。）の切手を貼ってください。
9	判定結果送付用封筒	市販の封筒（大きさ：長形3号120mm×235mm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、140円切手を貼ってください。
10	入学検定料支払いに関する書類	入学検定料：30,000円 欄外に記載の「入学検定料の支払い方法について」を参照の上、入学検定料を納付し、次の(a)又は(b)のいずれかの書類を提出すること。 (a) コンビニエンスストアで支払う場合 『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式4） (b) クレジットカードで支払う場合 『受付完了画面』をプリントアウトしたもの（A4サイズ）

○入学検定料の支払い方法について

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、(a) コンビニエンスストア、又は(b) クレジットカードにより支払うこと。（海外からの支払いの場合は、(b)のみ。）支払方法の詳細は、本要項に掲載の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者が負担することとなる。

【支払い期間】

平成30年6月18日（月）～平成30年6月29日（金）

※ ただし、平成31年度九州大学大学院総合理工学府修士課程入試（高等専門学校の推薦入試）に出願した者については、平成30年7月6日（金）を支払期限とします。

【入学検定料支払いに関する提出書類】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式4）」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

(b) クレジットカードで支払う場合

「『受付完了画面』をプリントアウトしたもの」（A4サイズ）を出願書類と共に提出すること。

（注意）

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」（<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>）を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

5. 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地
九州大学筑紫地区事務部 教務課教務係
電話（092）583-7512

6. 出願資格審査

1 の出願資格 (9)、(10) 又は (11) による出願をする者には、出願に先立ち、資格審査を行いますので、次の書類を5の提出先へ提出してください。(提出書類については事前に相談してください。)

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として、封筒表面に「修士出願資格審査」と朱書きしてください。

(1) 提出書類

1	出願資格認定申請書 (様式5)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
2	推薦書	最終出身学校等が作成したもので推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。(A4判で様式随意)
3	研究従事内容証明書 (様式6)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
4	卒業(見込)証明書	最終出身学校等が発行したもの
5	成績証明書	最終出身学校等が発行したもの
6	出願資格審査結果通知封筒	市販の封筒(大きさ:長形3号120mm×235mm)に郵便番号・住所・氏名を記入し、372円切手を貼ってください。

(2) 提出期間

要項発表の日から平成30年5月25日(金)17時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、平成30年6月15日(金)までに、申請者あてに通知しますので、資格があると認定された者は、4の出願手続きを行ってください。

7. 試験の実施方法

試験は、『筆答試験』及び『口述試験』(筆答試験を免除し得る者を対象)に分けて実施します。『口述試験』を受験した結果、合格とならなかった者は、『筆答試験』を受験することができます。

『口述試験』は、希望研究室での勉学に高い意欲と適性をもち、『筆答試験』によらずとも十分な学力があると判断できる者を選抜する方式です。

過去の合格者数については、各専攻のホームページ(2頁)を参照ください。

なお、奨学金などの推薦に当たって、『口述試験』合格者と『筆答試験』合格者は、同等の資格を持ちます。

『口述試験』について

(1) 量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、先端エネルギー理工学専攻及び大気海洋環境システム学専攻の『口述試験』

『口述試験』受験の対象の可否については、出願書類を基に各専攻で決定し、全ての『口述試験』受験希望者に受験票を送付(平成30年7月13日頃予定)する際に文書により通知します。

なお、『口述試験』受験を希望せず、『筆答試験』で受験する者の受験票も、平成30年7月13日頃(予定)に送付します。

※『口述試験』については、希望研究室等調査票記入に関する参考資料を必ずお読みください。

(2) 環境エネルギー工学専攻の『口述試験』

環境エネルギー工学専攻については、希望をとりません。本専攻の口述試験対象者の考え方については専攻ホームページ http://www.eee.kyushu-u.ac.jp/eee/e_admission/index.php#ipank を確認して下さい。

なお、「口述試験」の対象となる者については、出願書類を基に専攻で判定し、受験票送付（平成30年7月13日頃予定）の際に該当者あて文書により通知します。

8. 専攻の志望方法

出願に当たっては、下表のとおり第1志望専攻の他に第2志望専攻まで志望できます。

第1志望専攻	第2志望専攻として出願できる専攻
量子プロセス理工学	物質理工学（物質・材料系専門科目で受験の者）
物質理工学	量子プロセス理工学
先端エネルギー理工学	なし
環境エネルギー工学	なし
大気海洋環境システム学	なし

（注）第2志望専攻を希望する者は、8頁（筆答試験の科目）の備考欄を参照してください。

9. 試験期日等及び選抜方法

(1) 『口述試験』

① 試験は、次の日程で行います。

月日(曜)	時間	試験内容	試験場	備考
7月21日(土)	自 9時 至 17時	口述試験	九州大学大学院 総合理工学府 (筑紫地区)	試験時間割、試験場等詳細については、受験票送付の際に通知します。

（注）自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった場合は、7月22日（日）に試験を実施することがあります。

② 選抜は口述試験の内容及び出願書類の内容を総合して行います。

(2) 『筆答試験』

試験は、次の日程で行います。

月日(曜)	時間	試験内容	試験場	備考
8月9日(木)～ 8月10日(金)	自 9時 至 17時	筆答試験 及び 口頭試問	九州大学大学院 総合理工学府 (筑紫地区)	試験時間割、試験場等詳細については、受験票送付の際に通知します。

（注）量子プロセス理工学専攻の筆答試験は、電気系専門科目、物質・材料系専門科目ともに同じ日に試験を行います。

（注）自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった場合は、8月11日（土）に試験を実施することがあります。

10. 筆答試験の科目

別掲（8頁参照）

11. 合格者発表等

(1) 口述試験結果の連絡

平成30年 7月26日（木）までに連絡

(2) 合格者発表（口述試験、筆答試験の全て）

平成30年 8月20日（月）12時

（注）合格者の発表は、筑紫地区事務部公報掲示板（共通管理棟横）の掲示で行います。

また、後日郵送により判定結果を本人あてに通知します。

12. 入学の時期

平成31年4月1日

13. 入学手続

- (1) 入学手続に必要な提出書類等については、平成31年2月下旬に改めて通知します。
- (2) 入学手続の際に納付する経費等
入学料：282,000円（予定）
授業料：（前期分）267,900円（年額535,800円）（予定）
（注）上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

14. 注意事項

- (1) 願書受理後は記載事項の変更、検定料の払い戻しなどには一切応じません。
- (2) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（共通管理棟）で再発行を受けてください。
- (3) 受験の際は英語能力認定機関の発行した認定証の原本を持参ください。
- (4) 試験場への交通機関
 - ・ J R九州鹿児島本線大野城駅下車 徒歩約5分
 - ・ 西鉄大牟田線白木原駅下車 徒歩約15分
- (5) 障害等のある入学志願者について
本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前できるだけ早い時期に5の提出先へ相談してください。
- (6) その他出願に際して、疑問、不明な点があれば、5の提出先へ問い合わせてください。

15. 出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - ② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

[別掲]
(筆答試験の科目)

専攻	試験科目	備考
量子プロセス 理工学	外国語：英語※ 専門 電気系専門科目： [数学、電磁気学、電気回路] 物質・材料系専門科目： [数学、量子力学、固体物性学、物理化学、 無機・分析化学、有機化学、統計力学、材料力学、 金属材料学、高分子科学、化学工学]	専門については、電気系専門科目、物質・材料系専門科目のいずれかを選択解答すること。 なお、専門科目の選択を入学願書等の「選択科目」欄に記入すること。 電気系専門科目では、数学、電磁気学、電気回路の3科目全てが必須である。 物質・材料系専門科目では、数学、量子力学、固体物性学、物理化学、無機・分析化学、有機化学は2題、統計力学、材料力学、金属材料学、高分子科学、化学工学は1題、合計17題出題するので、その中から4題を選択解答すること。 なお、物質・材料系専門科目で受験する者は、物質理工学専攻を第2志望とすることができる。 科目の選択法や第2志望に関しては「参考資料」をよく読むこと。また入試科目の内容、選択法等の入試内容の詳細を、専攻ホームページ (http://www.asem.kyushu-u.ac.jp) 上に掲載するので参照すること。
物質理工学	外国語：英語※ 専門科目： [数学、量子力学、材料力学、 固体物性・金属材料学、無機・分析化学、 物理化学、有機化学]	専門科目は各科目2題、合計14題出題するので、その中から3題を選択解答すること。 各科目の出題範囲などの入試内容の詳細を、専攻ホームページ (http://www.mm.kyushu-u.ac.jp/) 上に掲載する。記事をよく読むこと。 物質理工学専攻の受験者は、量子プロセス理工学専攻(物質・材料系)を第2志望専攻とすることができる。第2志望に関しては、「参考資料」をよく読むこと。
先端エネルギー 理工学	外国語：英語※ 数 学：微積分、微分方程式、関数論、線形代数など 専門Ⅰ [物理学]：力学、電磁気学、熱・統計力学、 物性物理学、量子力学など 専門Ⅱ [化学・化学工学]：固体化学、化学熱力学、 化学工学、放射化学など 専門Ⅲ [電気・電子工学]：電磁気学、電気回路論、 過渡現象論、情報論など 専門Ⅳ [材料科学]：金属材料学、無機材料学、材料物性など 専門Ⅴ [機械・エネルギー工学]：工業熱力学、 流体力学、伝熱学など	数学は必須であり、5題中3題選択解答すること。 専門科目は各分野から3題以上、合計で最大25題出題するので、その中から合計3題選択解答すること。
環境エネルギー 工学	外国語：英語※ 数 学：微積分、微分方程式、関数論、線形代数など 専門Ⅰ：[建築環境工学、熱力学及び伝熱学] 専門Ⅱ：[建築計画学、水力学及び流体力学]	数学は5題中3題選択解答すること。 専門Ⅰ及びⅡについては、それぞれ [] 内の2科目のうち、いずれか1科目を選択解答すること。
大気海洋環境 システム学	外国語：英語※ 数 学：線形代数、微分方程式など 専 門：[応用数学、力学、材料力学、熱力学、水工学、 大気海洋力学]	専門は [] 内の科目から1題ずつ出題するので、2題を選択解答すること。

※英語能力認定機関の発行した認定証で評価。専攻独自の英語試験は行わない。

試験当日英語能力認定機関の発行した認定証の原本を持参のこと。

詳細は各専攻ホームページ参照。

九州大学大学院総合理工学府概要

科学技術の発達にともなう物質文明の爆発的な拡大によって、私たちはかつてないエネルギー問題や環境問題に直面しています。言い換えれば「科学技術の進歩は果たして環境問題を収束させ得るのか」という問題が人類に投げかけられています。このような状況において、持続発展型社会を構築することは焦眉の課題であり、そのためには環境調和型科学技術の確立とその発展が必須です。大学院総合理工学府は、量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、先端エネルギー理工学専攻、環境エネルギー工学専攻、大気海洋環境システム学専攻の5専攻から成る、学部をもたない教育組織です。その教育研究の目的は「物質、エネルギー、環境及びその融合分野における環境共生型科学技術に関する高度の専門知識と課題探求・解決能力を持ち、持続発展社会の構築のためにグローバルに活躍できる技術者ならびに研究者の養成」にあります。本学府は、学府共通科目、横断科目、異分野特別演習など、各専攻間の有機的な連携をはかりながら、環境調和型科学技術に精通した技術者及び研究者の養成を目指しています。

なお、詳細については、総合理工学府ホームページ < <http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/> > を参照してください。

専攻及び講座

専攻	講座	教育分野
量子プロセス理工学	電気プロセス工学	電離反応工学、電磁応用工学、光エレクトロニクス
	光機能材料工学	結晶物性工学、無機光機能材料工学
	量子物性学	非線形物性学、量子材料物性学
	分子プロセス工学	機能分子工学、ナノマテリアル化学、材料電気化学、化学反応工学
	分子材料科学	機能有機材料化学、素子材料工学
	機能物性評価学	機能物性評価学
	グローバルイノベーションセンター	機能デバイス工学、機能材料工学、フォトニックシステム工学
物質理工学	固体表面科学	表面物質学、理論物質学
	固体材料設計学	機能材料物性学、機能無機材料工学、構造材料物性学、機能材料構造学
	分子物性計測学	分子計測学、高分子機能材料学
	材料物性学	先端材料強度学
	物質構造化学	構造有機化学、機能有機化学
	有機合成化学	反応創造化学、精密合成化学
	融合材料科学	ナノ融合材料学、高分子材料物性学
	新素材開発工学	新素材開発工学
	グローバルイノベーションセンター	先進ナノマテリアル科学
	中央分析センター	無機ナノ構造解析学
	基幹教育院自然科学実験系部門	分子科学

先端エネルギー理工学	高密度エネルギー理工学	高エネルギー応用力学、極限材料工学
	先端エネルギーシステム開発学	エネルギー化学工学、エネルギー物理工学、先進宇宙ロケット工学
	炉心理工学	高エネルギープラズマ力学、核融合プラズマ理工学、先進プラズマ制御学
	高エネルギー物質理工学	シミュレーションプラズマ物理学、高エネルギー極限物性学、非線形物質運動学、プラズマ材料学
	先端エネルギーシステム学	先端エネルギーシステム学
環境エネルギー工学	流動熱工学	熱機関工学、エネルギー流体科学、グリーンアジア環境学
	熱環境工学	都市建築環境工学、熱環境システム
	エネルギー有効利用工学	環境エネルギーシステム学、熱エネルギー変換システム学
大気海洋環境システム学	流体環境学	宇宙流体環境学、環境流体科学、沿岸海洋環境学
	環境基礎解析学	非線形流体工学、大気物理、海洋システム力学
	環境計測学	大気環境モデリング、気候変動科学、海洋環境解析学、海中機器制御
	環境予測学	海洋循環力学、海洋変動力学、海洋モデリング
	海洋機器開発	(海洋機器開発)

※ () 内の教育分野について、今回は募集を行わない。

希望研究室等調査票の記入について

修士課程においてあなたがどの研究室での修士論文研究を希望しているのかを予め調査する必要があります。

については、あなたの志望専攻のページをよく読んで、学生募集要項にある希望研究室等調査票（様式2）に正確に記入してください。様式2は専攻ごとに異なりますので、注意してください。

九州大学 コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！

<https://e-shiharai.net/>



- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※クレジットカード・Alipay国際決済・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

クレジットカード・Alipay・銀聯でお支払い

VISA, Mastercard, JCB, UnionPay, Alipay

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

基本情報入力画面で、支払に利用するカードを選択

画面の指示に従い、支払手続を行ってください。

お支払い完了です。下記の手順に従って、申込内容照会結果を印刷してください。

コンビニエンスストアでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

Kstation

【オンライン決済番号 (11ケタ)】

各種支払い

11ケタの番号をお持ちの方

チケット受け取りはこちら

オンライン決済番号を入力してお支払い

【オンライン決済番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppi

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付 (紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポート

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

3 出願

【クレジットカード・Alipay・銀聯でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封してください。

<注意>

スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

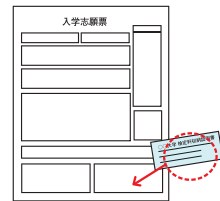


【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願書の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- Alipay、銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。(携帯電話からはお支払いできません)
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

平成31年度九州大学大学院総合理工学府修士課程入学試験受験に係る

出 願 書 類 提 出 確 認 票

提出書類の記載不備等がないことを確認して、あなたが提出する出願書類の全てについて、先頭の□の欄にチェック（✓又は×）を入れ、出願書類一式の一番上にこの票を載せて提出してください。

なお、提出するものは出願資格等により異なりますので、学生募集要項の「4. 出願手続」の項で確認してください。

	出 願 書 類 名
□	願書（様式1）
□	希望研究室等調査票（様式2）
□	照合票・受験票（様式3）
□	卒業（見込）証明書
	学士の学位証明書
	学位授与申請予定証明書
□	成績証明書
□	英語能力認定機関の発行した認定証の写し
□	受験票返送用封筒（市販の封筒。大きさ：長形3号 120mm×235mm）（372円分切手貼付）
□	判定結果送付用封筒（市販の封筒。大きさ：長形3号 120mm×235mm）（140円分切手貼付）
□	入学検定料支払いに関する書類（a又はb） a. 『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式4） b. 『受付完了画面』をプリントアウトしたもの

※各様式の「受験番号欄」は、記入しないでください。

（本学府から連絡をとる場合の連絡先の届）

ふりがな 氏名	
現住所	〒
電話番号	自宅電話
	携帯電話
電子メール・アドレス	
帰省先	電話番号
大学研究室	電話番号

九州大学大学院総合理工学府
修士課程入学願書

年 月 日

九州大学大学院総合理工学府長 殿

氏 名

(自署)

西暦 年 月 日生 (男・女)

貴大学院総合理工学府修士課程に入学したいので、関係書類を添えて出願します。

氏 名	ふりがな	受験番号	※ 第 号
	英字* :		
現 住 所 (連 絡 先)	(〒 -) 電 話 () - () - () 電子メール		
本 籍 (都 道 府 県 名)			
出 身 大 学 等 (大学/高等専門学校・ 学部・学科等)	大学 高等専門学校専攻科	学部	学科 専攻
	西暦	年 月	卒業 卒業見込
志 望 専 攻	専 攻		

口 述 試 験 の 受 験 希 望	量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、先端エネルギー理工学専攻及び大気海洋環境システム学専攻のいずれかの専攻を第1志望とし、口述試験での受験を希望する場合は、下記を○で囲んでください。 希望する
-------------------	---

第 2 志 望 専 攻	注 志望専攻が、量子プロセス理工学専攻及び物質理工学専攻の受験者のみ	専 攻
-------------	------------------------------------	-----

選 択 科 目	注 志望専攻が、量子プロセス理工学専攻の受験者のみ	電気系専門科目 ・ 物質・材料系専門科目
---------	---------------------------	----------------------

◆九州大学在学学生は、学生番号を記入すること。

学生
番号

◆外国人留学生は、入学後の留学区分に○印を付すこと。

留学
区分

1. 国費 2. 政府派遣 3. 私費

*氏名欄の英字氏名は、ヘボン式 (パスポート等の表記に準拠) で記入すること。

前の頁の入学願書と両面印刷してください。

学 歴		高等学校卒業から記入してください。 外国人は、小学校入学から記入してください。
西暦	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴		
西暦	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
※本人以外を記入ください 緊急連絡先	ふりがな氏名	
	現住所	(〒 -) 電話 () - () - ()
	本人との続柄	

- 注1. 学歴、職歴の欄には、出願時（現在）の身分がはっきりするように「現在に至る」等を最後の履歴事項の次の欄に記入してください。
- 注2. 高等学校卒業後の履歴に空白期間がないように予備校通学等も含め記入してください。

この調査表は
別の「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」
を見て記入してください。

様式2 (量)

希望研究室等調査票

量子プロセス理工学専攻受験者用

量子プロセス理工学専攻の研究室から4つを選択し、下の志望研究室選択欄に○印で記入してください。

氏名

--

志望研究室選択欄

第1希望研究室から第4希望研究室までを各1つ○印で選択してください。(注1)、(注2)

教育分野名	(研究室名)	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望
電離反応工学	(内野・山形研)				
電磁応用工学	(吉武研)				
光エレクトロニクス	(浜本・堤井研)				
機能デバイス工学	(中島・王研)				
フォトニックシステム工学	(服部研)				
結晶物性工学	(西田・板倉研)				
無機光機能材料工学	(大瀧・末國研)				
量子材料物性学	(波多研)				
非線形物性学(注3)	(本庄・坂口(英)研)				
機能分子工学	(菊池・奥村研)				
化学反応工学	(林・工藤研)				
材料電気化学	(岡田研)				
機能有機材料化学	(藤田研)				
素子材料工学	(尹・宮脇研)				
機能物性評価学	(大橋・高田・坂口(勲)・原研)				
機能材料工学	(藤野研)				

(注1) 希望研究室を選ぶ際には、参考資料の2頁「希望研究室の選択の仕方」及び3～4頁の「量子プロセス理工学専攻研究室の概要」をよく読んでください。

(注2) 研究室の内容を詳しく知りたい方は、以下のいずれかの方法でアクセスすれば、専攻パンフレット及び研究室の研究概要などを入手できます。

- ・専攻のホームページ：「<http://www.asem.kyushu-u.ac.jp/>」
- ・郵送による資料請求先：〒816-8580 春日市春日公園6-1

九州大学大学院総合理工学府 量子プロセス理工学専攻事務室

- ・研究室に直接コンタクトする：アクセス法(電話、ファックス、電子メール)は、ホームページ、専攻パンフレット及び参考資料の3～4頁の「量子プロセス理工学専攻研究室の研究内容」に記載されています。

(注3) 本庄教授は平成31年3月退職予定のため、坂口グループのみの募集となります。

この調査表は
別の「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」
を見て記入してください。

様式2 (物)

希望研究室等調査票
物質理工学専攻受験者用

物質理工学専攻の研究室から4つを選択し、下の志望研究室選択欄に○印で記入してください。

氏名

--

志望研究室選択欄

第1希望研究室から第4希望研究室までを各1つ○印で選択してください。(注1)、(注2)

教育分野名	(研究室名)	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望
表面物質学	(水野・中川研)				
理論物質学	(青木研)				
機能材料物性学	(島ノ江・渡邊研)				
機能無機材料工学	(永長・北條研)				
構造材料物性学	(中島・光原研)				
機能材料構造学	(西堀研)				
分子計測学	(原田・藪下研)				
高分子機能材料学	(Spring研)				
先端材料強度学(注3)	(新川・東藤研)				
構造有機化学	(友岡・伊藤研)				
機能有機化学	(國信研)				
反応創造化学	(永島研)				
精密合成化学	(新藤・狩野研)				
ナノ融合材料科学	(柳田・長島研)				
高分子材料物性学	(横山・高橋研)				
新素材開発工学(注4)	(徐研・山田・上原研)				
先進ナノマテリアル科学	(吾郷研)				
無機ナノ構造解析学	(稲田研)				
分子科学	(古屋研)				

(注1) 希望研究室を選ぶ際には、参考資料の2頁「希望研究室の選択の仕方」及び5～6頁の「物質理工学専攻研究室の概要」をよく読んでください。

(注2) 研究室の内容をさらに詳しく知りたい方は、以下のいずれかの方法でアクセスすれば、専攻パンフレット及び研究室の研究概要などを入手できます。

・専攻のホームページ：「<http://www.mm.kyushu-u.ac.jp/>」

・郵送による資料請求先：〒816-8580 春日市春日公園6-1

九州大学大学院総合理工学府 物質理工学専攻事務室

・研究室に直接コンタクトする：アクセス法(電話、ファックス、電子メール)は、ホームページ及び専攻パンフレットに記載されています。

(注3) 新川教授は平成31年3月退職予定のため、東藤グループのみの募集となります。

(注4) 新素材開発工学を希望する場合は、二つの研究室のうちどちらかを○印で選択してください。

この調査表は
別の「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」
を見て記入してください。

様式2（先）

希望研究室等調査票

先端エネルギー理工学専攻受験者用

この調査表には入学後配属を希望する研究室（グループ）名を記入してください。なお、希望研究室（グループ）を選択するに際しては、参考資料の8、9頁を参照してください。各研究室（グループ）の教育・研究内容についての更に詳しい情報は、専攻ホームページ<http://www.aees.kyushu-u.ac.jp/>、および専攻パンフレット（専攻事務室に請求してください）から入手することができます。また、直接研究室を訪問することも可能です。

連絡先
先端エネルギー理工学専攻事務室
電話番号：092-583-7562、ファックス：092-583-7597

受験者氏名

--

配属を希望する研究室（グループ）名

（希望する研究室（グループ）をすべて記入してください。口述試験を希望する場合には、配属希望研究室の教員と必ず連絡をとり、特に希望する研究室（グループ）を最大2つまで選び、○印を付けてください。）

研究室（グループ）

この調査表は
別の「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」
を見て記入してください。

様式2（環）

希望研究室等調査票

環境エネルギー工学専攻受験者用

この調査表には、あなたが入学したいと志望する専攻内で、どの研究室（教育分野）で学びたいかをよく考えて、最も強く希望する研究室名を記入してください。

なお、希望研究室の選択に際しては、参考資料の10、11頁「環境エネルギー工学専攻研究室の概要」をご参照ください。

詳細な情報は、環境エネルギー工学専攻のホームページからも得ることができます。

< <http://www.eee.kyushu-u.ac.jp/> >

志望専攻名

環境エネルギー工学専攻

卒業見込み（あるいは卒業）大学名（高専専攻科を含む）

氏名

希望研究室名（第一希望のみ）

この調査表は
別の「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」
を見て記入してください。

様式2 (大)

希望研究室等調査票

大気海洋環境システム学専攻受験者用

参考資料の12頁「大気海洋環境システム学専攻研究室の概要」を参照の上、希望する研究室（教育分野）名または教員名を、希望順に3つ下欄に記入してください。

出願者氏名

--

希望研究室（教育分野）又は教員名

第一希望：

第二希望：

第三希望：

研究室の詳しい内容は、以下のいずれかの方法でアクセスすれば、専攻パンフレット及び研究室の研究概要などを入手できます。また、直接研究室を訪問することも可能です。十分に調べて希望研究室を記入してください。

- ・専攻のホームページ：「<http://www.esst.kyushu-u.ac.jp/>」
- ・郵送による資料請求先：〒816-8580 春日市春日公園6-1

九州大学大学院総合理工学府 大気海洋環境システム学専攻事務室

照 合 票

(修士課程)

志望専攻	第1志望	専攻	受験番号	※ 第 号
	第2志望	専攻		
出身大学等		大学名等： 学部名等： 学科名等：		写真貼付欄 最近3ヶ月以内に 撮影した写真 (4.5cm×3.5cm正 面上半身脱帽) を貼ってください。
氏名		ふりがな (西暦 年 月 日生)		
選択科目		量子プロセス理工学専攻	電気系専門科目	物質・材料系専門科目

九州大学総合理工学府

受 験 票

(修士課程)

受験番号	※ 第 号	志望専攻	第1志望	専攻
			第2志望	専攻
氏名		ふりがな (西暦 年 月 日生)		
選択科目		量子プロセス理工学専攻	電気系専門科目	物質・材料系専門科目

九州大学大学院総合理工学府

- 注) 1. 受験票は、試験中必ず携行してください。
2. 受験票を所持しない者は、試験場に入ることができません。

「入学検定料・選考料 取扱明細書」貼付用台紙

コンビニエンスストアで支払いをした場合は、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を下の枠内に貼付して出願書類と共に提出すること。

クレジットカードで支払いをした場合は、プリントアウトした「受付完了画面」を貼付せずに出願書類と共に提出すること。

平成31年度修士課程入学試験（一般選抜）			
志望学府	総合理工学府	受験番号	※
志望専攻	専攻	フリガナ 氏 名	
住 所 等	(〒 -) (TEL - -)		
「入学検定料・選考料 取扱明細書」貼付欄			

※受験番号欄は記入しないこと。

出願資格審査が必要な方は、この書式及び次の書式を印刷の上必要事項を漏れなく記入して、他の必要書類とともに提出してください。

様式 5

出願資格認定申請書

(修士課程一般選抜)

受験番号 ※
第 号

九州大学大学院総合理工学府長 殿

ふりがな

氏 名

(自署)

(西暦 年 月 日生)

この度、貴大学大学院総合理工学府修士課程 (専攻) に入学を志願するにあたり、入学資格の認定を受けたく、所定の書類を添えて申請しますので、よろしくお願ひします。

記

氏 名		国籍	
現 住 所	(〒 -) 電 話 () - () - () 携 帯 電 話 () - () - () 電 子 メール		
現 職			
承認指導教員	(承認を得た指導教員と予定される者の氏名を記入してください。)		
学 歴 ・ 職 歴			
研究業績並びに学会及び社会における活動等			

出願資格審査が必要な方は、この書式及び前の書式を印刷の上必要事項を漏れなく記入して、他の必要書類とともに提出してください。

様式 6

研究従事内容証明書

(修士課程一般選抜)

受験番号 ※
第 号

九州大学大学院総合理工学府長 殿

志望専攻名

専攻

所属・職名

氏 名

(西暦 年 月 日生)

(出願資格認定申請用)

職 歴	勤務(研究)期間	勤務所属	主な職務(研究)内容

研究計画に関する過去の職務内容 (500字程度)

標記の者について、上記のとおり証明します。

年 月 日

企業等名

職 名

氏 名

(職印)